

# 新潟青陵大学短期大学部

平成18年度第三者評価  
機関別評価結果

平成19年3月22日

財団法人 短期大学基準協会

## 新潟青陵大学短期大学部の概要

設置者	学校法人 新潟青陵学園
理事長	関 昭一
学 長	関 昭一
A L O	大谷 一男
開設年月日	昭和40年4月1日
所在地	新潟県新潟市水道町1-5939

### 設置学科および入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
人間総合学科		200
幼児教育学科		100
	合計	300

### 専攻科および入学定員(募集停止を除く)

なし

### 通信教育および入学定員(募集停止を除く)

なし

## 機関別評価結果

新潟青陵大学短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成19年3月22日付で適格と認める。

## 機関別評価結果の事由

### 1. 総評

平成17年6月23日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現および教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

地域の要請や実情に応じて実践的な知識や技術を教授し、よき家庭人、社会人を育てるという建学の精神は、時代の変化に対応して具体的な教育内容や学科全体を改変させながら発展的に継承されている。建学の理念と、平成16年に新たに作成された教育理念および教育方針・教育目標は充分確立して学内外に示されている。既存の幼児教育学科と新設の人間総合学科でも、より具体的な教育目的・目標が検討されている。人間総合学科は今日的なニーズに応えられるように、免許・資格取得を軸とした豊富な専門科目群を用意している。幼児教育学科は幼稚園教諭・保育士養成機関として十分な内容、レベルを擁している。

教員組織などは整備され、規程・基準に基づいた適切な人事がなされている。すべての教員が授業をはじめとする教育活動、委員会などの校務、またアドバイザー制度を含めたきめ細かな学生指導に取り組んでいる。校地は風致地区内に位置し、面積、施設・設備は確保され、管理も行き届いている。併設の四年制大学と共用の図書館は面積および設備、蔵書数ともに充分で、各学科の専門を反映した蔵書を備えている。図書館活動は活発で、地域開放も実施している。

単位認定、学習評価の方法はおおむね適切で、資格取得の取組みと実績も充分である。学生の指導体制はアドバイザー制を軸に整えられ、平成17年度入学者の退学、休学者は皆無である。また就職部と教員が連携して、教育内容や学生指導などの方向性を探るために、就職先や編入先からの意見聴取と分析に努めている。

学生支援については、アドバイザーが履修指導や学習上の問題や悩みに対して指導助言し、各部局・課と委員会で学生生活の支援に対応している。また経済的支援や健康管理、個人情報管理、就職・編入学、さらに留学生の受け入れなどの支援体制も整えられてい

る。

授業のための教材研究、授業展開の工夫などを重要な研究活動と位置づけている。研究報告は、その成果の発表の場として活用されている。また研究費は平成12年度以降増額され、研究意欲の喚起と活動を支援している。研究室とその備品はおおむね充実しているといえる。

教育・研究機能の公開の拠点としてのエクステンションセンターによる多様な公開講座およびセミナーを開いている。また図書館を知的拠点として地域開放している。

学校法人の管理運営全般は、理事長のリーダーシップの下で、理事会、評議員会および監事の業務が機能し、適切な運営が行われている。短期大学の運営全般は、教授会、運営会議、各種委員会などが設置され、学長のリーダーシップの下で運営されている。事務組織は、組織規程などにに基づき整備され、決裁規程などによって業務が執行されている。

事業計画および予算編成は、編成方針の下に学内手続きを経た上で、理事会で決定され、関係部門などに伝達されている。予算管理、資産管理および監査は適正に実施されている。短期大学の財務状況と定員充足率は良好に推移しており、施設設備および管理規程も整備され、適切に管理されている。

## 2. 優れていると判断される事項など

### (1) 優れていると判断される事項

評価領域 教育の内容

人間総合学科は、学生の多様なニーズに応えられるように、免許・資格取得を軸としたユニットを設定して体系的なカリキュラムが編成されている。幼児教育学科は、質の高い保育者の養成に向けた独自のカリキュラム構成がとられている。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

退学、休学者数が極めて少ないが、それはアドバイザー制を軸とした指導体制が行き届いていることによるものと思われる。卒業生に対する評価を調査するなど、教育効果を見極めようとする積極的な姿勢がうかがわれる。

評価領域 学生支援

教員一人当たり15～20人程度の学生を対象に、学習・生活などの諸問題に対応するアドバイザー制という指導体制を確立して、きめ細かな学生指導を行っている点が特徴的である。

評価領域 改革・改善

実学重視の建学の理念を発展的に継承させて地域・時代の変化に対応し、新学科開設を

はじめ意欲的な改革を行っている。

( 2 ) 向上・充実のための課題

評価領域 管理運営

今後、事務職員の一層の能力向上のためスタッフ・ディベロップメント( S D ) 活動の充実が望まれる。

( 3 ) 早急に改善を要すると判断される事項

なし

## 領域別評価結果

評価領域		評価結果
評価領域	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域	教育の内容	合
評価領域	教育の実施体制	合
評価領域	教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域	学生支援	合
評価領域	研究	合
評価領域	社会的活動	合
評価領域	管理運営	合
評価領域	財務	合
評価領域	改革・改善	合

### 評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

地域の要請や実情に応じて実践的な知識や技術を教授し、よき家庭人、社会人を育てるという建学の精神は、時代の変化に対応して具体的な教育内容や学科全体を改変させながら発展的に継承されている。建学の理念と、平成16年に新たに作成された教育理念および教育方針・教育目標は充分確立して学内外に示されている。既存の幼児教育学科と新設の人間総合学科でも、より具体的な教育目的・目標が検討されている。いずれも教授会や理事会、学科会議などでの点検と、改革のための議論を行う組織的な努力が認められる。

カリキュラム改革を含めた教育方針・教育内容の見直しと改善については、適宜運営会議や教授会および理事会で検討されている。各学科でもより具体的な教育目的・目標について学科会議などで検討されている。教育方針・教育内容は、印刷物をはじめウェブサイトなどで学内外に示され、新入生にはオリエンテーション時に詳説されている。

### 評価領域 教育の内容

建学の精神や教育理念、各学科の教育目的・目標にもとづき教育課程が編成され、意欲的な改善が重ねられている。人間総合学科は今日的なニーズに応えられるように、免許・資格取得を軸とした豊富な専門科目群を用意している。幼児教育学科は幼稚園教諭・保育士養成機関として十分な内容、レベルを擁している。さらに質の高い保育者養成のため正規のカリキュラム以外に「実習指導特別研修」を開設するなど工夫がなされている。

各学科ともに詳細な講義概要（シラバス）と手引きが作成され、配布されている。形式も統一され、成績評価の方法、テキストも具体的に示されている。学生ポータルサイトを活用して、シラバスをはじめ各授業のレジメやレポートの内容が確認できる。

平成12年度より全開講科目を対象に、学生による授業評価が実施され、平成17年度に実施された学生の満足度調査と併せて授業改善のための参考資料とされている。授業評価の結果は、教員や学生に開示され、教務部長による分析も行われている。平成17年度には、授業評価の実施体制や評価用紙の改善が行われるなど、努力がみられる。

#### 評価領域 教育の実施体制

短期大学設置基準の規定を大きく上回る教員数が確保され、内部の規程・基準に基づいた人事がなされている。すべての教員がアドバイザーとして学生指導に当たるなど、教育活動および学生指導に意欲的に取り組んでいる。

施設・設備は充分で、整備も適切に行われ、行き届いた教育環境が整えられて活用されている。

併設の四年制大学と共用の図書館であるが、設備や面積、蔵書数は申し分なく、図書館の規程なども整備されている。また、平成5年度より地域開放を実施するなど、図書館活動も活発である。

#### 評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

単位認定、学習評価の方法はおおむね適切で、資格取得の取組みと実績も充分である。学生の指導体制はアドバイザー制を軸に整えられ、平成17年度入学者の退学、休学者は皆無である。特に人間総合学科は改組前と比べ、退学・休学者数の減少が著しい。また就職部と教員が連携して、教育内容や学生指導などの方向性を探るために、就職先や編入先からの意見聴取と分析に努めている。

単位認定、学習評価の方法はおおむね適切で、学生の満足度にも反映されている。免許・資格取得への取組みと実績は充分である。学生の指導はアドバイザー制度を軸に行われ、平成17年度入学者の退学、休学者は皆無であった。

#### 評価領域 学生支援

アドバイザー制（教員）という当該短期大学独自の学生指導体制により、学生生活はもとより学習上の悩みに対応している。また多様な資格取得のできる人間総合学科は、「カリキュラムサポートデスク」を教務課に設けて、学習相談の窓口とするなど工夫を凝らしている。

業務組織の各部局、各種委員会、さらにアドバイザーなどによって多角的に学生生活の支援を行っている。また「短大生活についてのアンケート」を実施して、学生の声を聞いて、さらなる生活改善を進めている。ほかに奨学金、低利の育英ローン、健康管理センター内に学生相談室を設置するなど多方面からの学生生活支援を行っている。教員による就職委員会と教職員による就職部就職課を中心に就職支援を行っている。しかも就職のための教科を設けたり、ガイダンスなどの就職支援事業を数多く設け、学生が適職に就けるよう指導をしている。また、編入希望学生のための教科も設けている。

#### 評価領域 研究

授業のための教材研究、授業展開の工夫などを重要な研究活動と位置づけている。研究報告は、その成果の発表の場として活用されている。また研究費は平成12年度以降増額され、研究意欲の喚起と活動を支援している。研究室とその備品はおおむね充実しているといえる。

授業研究を教員の研究活動の中心として、教材研究、授業展開の工夫を推進し、ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動の円滑化も図っている。

#### 評価領域 社会的活動

エクステンションセンターを設け、オープンカレッジなどの生涯学習ならびに地域交流を推進するプログラムを積極的に企画・実施している。

併設の四年制大学と共同して「地震・水害時等のボランティア活動に関する規程」を整備して、学生・教職員のボランティア活動を支援している。また幼児教育学科の学生を中心とした障害者交流クラブ「すくすく」の活動を通して、将来の保育や援助を担う力を養っている。

米国ワシントン州オーバー市のグリーンリバー・コミュニティ・カレッジと姉妹校提携をし、少人数ながら毎年短期留学生を派遣している。教員では夏期休業中に国際会議に参加している者もいる。

#### 評価領域 管理運営

理事長としてのリーダーシップは、十分に発揮されている。理事会および評議員会は定例的に開催されて適切に運営され、監事も学校法人の管理運営が適正に行われているよう監査している。理事の構成についても、著しい偏りはみられない。

学長は理事長が兼務し、教学と経営の意思決定はもとより短期大学運営の最高責任者としてのリーダーシップを発揮している。教授会は定例的に開催され、審議機関として学

則第6章に基づいて適正に運営されている。また運営会議を設けて、短期大学の基本方針ならびに計画立案、教授会付議事項の審議を行っている。さらに併設の四年制大学との合同の委員会を含めて各種委員会が設置され、校務を適宜分担している。

事務組織は、事務局長を中心に整備され、また、関連諸規程も整備されている。

#### 評価領域 財務

事業計画および予算編成は、編成方針の下に学内手続きを経た上で、理事会で決定され、関係部門などに伝達されている。予算管理、資産管理および監査は適正に実施されている。併設校の財務状況に若干の問題はあるが、短期大学の財務状況と定員充足率は良好に推移している。施設設備および管理規程も整備され、適切に管理されている。

併設の四年制大学と校地・校舎など共用する部分もあるが、短期大学としての施設・設備は充足し、整備されている。経理規程、固定資産管理規程などの財務および施設に関する諸規程も整備され、適切に管理している。「火災、その他災害発生時の教職員行動マニュアル」も作成して、防犯対策や避難訓練を実施している。コンピュータのセキュリティ対策や省エネおよび地球環境保全対策などにも努めている。

#### 評価領域 改革・改善

平成4年以来、学長直属の自己評価委員会を設置し、自己点検・評価を行ってきたが、平成13年度から全学的な自己点検・評価を実施して、平成14年3月に、『新潟青陵女子短期大学自己点検・評価報告書 現状と課題』を公表した。

自己評価委員会の下に、評価項目ごとに担当委員を指定し、事務局の協力を得て現状と問題点を把握して改善・改革への努力がなされた。その間、教職員の意見も聴取して反映させている。今回の第三者評価終了後に自己点検・評価報告書の公表が予定されている。